

【試合結果】

男子																			
日時	平成30年4月14日(土) 10:20 ~																		
会場	千歳スポーツセンター																		
結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浜松開誠館</td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td style="text-align: center;">旭川愛宕</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">58</td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td style="text-align: center;">道3位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td style="text-align: center;">OT</td> </tr> </table>	○		●	浜松開誠館	}	旭川愛宕	58	}	52		}	道3位		}			}	OT
	○		●																
浜松開誠館	}	旭川愛宕																	
58	}	52																	
	}	道3位																	
	}																		
	}	OT																	
審判	主審 五島 義人 副審 吉崎 哲司 菊地 洋平																		

第11回北海道カップ中学生バスケットボール大会



【ボックススコア】

浜松開誠館		0						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	渥美 優楓	×	29	3	9	2	4	0
5	須和部 陸	×	10	1	1	5	3	0
6	杉浦 捷太	×	2	0	1	0	6	0
7	海野 来晟	/	2	0	1	0	1	3
8	米津 陸	/	3	1	0	0	0	0
9	平本 大也	×	8	2	1	0	4	1
10	山本 勲和	/	0	0	0	0	0	3
11	鈴木 楓大	×	4	0	0	0	5	0
12	上杉 亮雅	DNP						
13		DNP						
14		DNP						
15		DNP						
16		DNP						
17		DNP						
18		DNP						
HC	尾藤 博己							
合計			58	7	13	7	23	7

旭川愛宕		道3位						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	萩生田 侑杜	×	7	1	2	0	1	2
5	松山 真之助	×	5	0	2	1	2	3
6	鹿原 拓夢	×	24	0	11	2	4	3
7	白田 翔悟	×	4	0	2	0	1	4
8	水野 神羽	DNP						
9	坂本 瑞樹	×	10	0	5	0	4	1
10	多田 款	/	2	0	0	2	1	0
11	森田 耕陽	DNP						
12	小玉 風歌	DNP						
13	上西 陸斗	DNP						
14	高 麗和	DNP						
15	山下 竜輝	DNP						
16	榎本 麗琉	DNP						
17	井上 寛太	DNP						
18	森山 亮	DNP						
HC	堀口 創平							
合計			52	1	22	5	13	13

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

開誠館#4、5、6、9、11 愛宕#4、5、6、7、9でティップオフ。
 1Q:先取点は愛宕、#7のジャンプシュートで口火を切る。負けじと開誠館#4が果敢なアタックからバスケットカウント。ハイレベルな個人技からゲームが展開される。開成館のスムーズなボール回しからのアウトサイドシュートに対し、愛宕は#4を中心にインサイドプレーで応戦。愛宕のミスから開成館の速攻が決まったところで愛宕がタイムアウト。タイムアウト後に開成館の厳しいオールコートプレスに苦しむ愛宕はいい形でオフェンスが展開できない。その間に開成館のシュートが効率よく決まる。残り3分、開成館#4のドライブが決まり17-10とする。その後、フリースローやイージーシュートを決めきった愛宕が盛り返し、20-16で終える。
 2Q:開始2分間両チームのシュートが外れ無得点で進行する。先手を取ったのは開誠館、#4が3P、FTを決める。愛宕も#6のミドルシュートで返す。流れを変えたい愛宕は前半2回目のタイムアウトを要求。タイムアウト後に開誠館#4の3Pが決まり28-18と二桁差に。愛宕も#9のバスケットカウントなど意地を見せる。さらに、相手のパスをインターセプトし、速攻でファールゲット。#10が落ち着いてFTを決め、30-26と追いつがる。残り2分間、ミスがありながらも攻めきった愛宕が追い上げ、33-30で前半終了。
 3Q:開始早々、愛宕#4の3Pが決まり33-33の同点に。すかさず開誠館#6がジャンプシュートを決め、再びリードする。さらに#4の力強いドライブからレイアップが決まり4点差にリードを広げる。しかし、愛宕#6のゴール付近の力強いシュートで応戦。終盤、双方シュートを決めきれず45-40で最終ピリオドに突入。
 4Q:愛宕は引き続き#6のインサイドプレーを軸にオフェンスを展開。粘り強くシュートを決め45-42とする。また、#9のジャンプシュートも決まり残り5分で45-44と一点差にする。しかし、開誠館は#9の3Pと#4のドライブで再びリードを広げる。その後も、開成館は#4のドライブ、愛宕は#6のインサイドで決め合い、残り1分で56-52。最後は落ち着いて攻めきった開成館がリードを保ち、58-52で勝利した。